お客さまとＪＰＲをつなぐ情報誌

JPR

VOL.27
2021. Jun

「ホワイト物流」に向けたシステム活用で
生協物流の「これから」を支える！

JPR SPOT LIGHT

株式会社
シーエックスカーゴ

「ホワイト物流」に向けた

システム活用で生協物流の「これから」を支える

日本生活協同組合連合会の子会社として、全国のコープ商品の物流を担っている株式会社シーエックスカーゴ（本社:埼玉県桶川市。以下、シーエックスカーゴ）。同社では2020年、新たに2つのシステムを導入することで物流業務の効率化を実現した。各システムの導入効果などについて、それぞれの担当者にお話を伺った。

生協物流をトータルにサポート

日本生活協同組合連合会（日本生協連）は、約320の生活協同組合を会員とする全国組織で、全国約2,900万人の組合員が生協を利用している。その日本生協連の子会社として1991年に設立されたシーエックスカーゴは、全国をネットワークで結び、発注から在庫保管・配送まで、生協物流をトータルでサポートしている。

物流の専門事業者として、シーエックスカーゴではホワイト物流の取り組みに力を入れている。2019年には、国土交通省・経済産業省・農林水産省が取り組む「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、自主行動宣言も提出した。持続可能な物流環境の実現に向けたその宣言の中で挙げられている主要な取り組み項目の1つが「パレット等の活用」だ。

パレット活用による作業負荷低減や業務効率化

シーエックスカーゴでは約10年前から、自社パレットなどに加えてJPRのレンタルパレットを導入。主として、全国各地にある同社の拠点DC（在庫保管センター）を相互に結ぶ幹線輸送時や、各エリアの会員生協への出荷時にJPRのレンタルパレットを使用している。

パレットを利用するメリットについて、桶川流通センターの入庫を担当する主任の榊原さんは次のように話す。

「従来バラ積みで入庫してきて荷受時にパレットに積んでいた配送会社様やメーカー様に対して、パレット輸送への切り替えを依頼してきました。パレットに積んで入庫することで、荷降ろしに時間がかからないようになり、DCのバース（トラックの積み降ろしスペース）の回転率向上や、荷降ろし待ち車両の減少、荷受時間の抑制につながります。また、出荷時にパレット輸送を行えば、ドライバーの作業負荷低減や積み降ろし時間の短縮が可能となるため、納品先様にもご協力いただきながらパレット活用を推進しています。納品先様がJPRレンタルパレットの共同回収登録店であれば、空きパレットの回収が不要で、車両がすぐに次の配送先に向かえることも大きなメリットです」

レンタルパレットや自社パレットを「epal」で一括管理

多くのメーカーなどと取引するシーエックスカーゴで使用するパレットには、JPRのレンタルパレットや自社パレットなど複数の種類のパレットが混在している。それらを管理するために、従来は主に自社開発のパレット管理システムを使用、また拠点DCの1つではJPRのWEB物流機器在庫管理システム「epal（イーパル）」を導入していた。

「パレットの利用拡大や効率化に向け、管理システムを1つにまとめて負荷軽減を図りたいと以前から考えていました」と運送事業部部長の松本さんは話す。「『epal』は原則としてJPRのレンタルパレットの在庫管理に用いるものですが、JPRに当社の事情を相談したところ、JPR以外の種類のパレット管理にも使えるよう対応できることがわかったのです」

そこでシーエックスカーゴでは拠点DC6カ所すべてに「epal」を導入し、2020年10月から利用を開始した。「実際の運用に当たっては、パレットの種類別や納品先の条件などに応じて登録方法が異なるなど、慣れるまで煩雑さもありましたが、導入から約半年が経過してシステムへの習熟度も上がり、精度も向上しました。おかげで、パレットの在庫管理の負担は確実に低減していると感じています」

入庫の受付簿をデジタル管理

シーエックスカーゴは2020年、「epal」に加えて、JPRの子会社である株式会社TSUNAGUTE（ツナグテ）が提供する入出荷予約受付サービス「telesa-reserve（テレサリザーブ）」を導入した。桶川流通センターのDCを担当する課長の柿原さんは、「ホワイト物流に貢献するサービスとしてJPRからご提案いただき、導入を決めました。現在、拠点DC6カ所で導入し、入庫するトラックの受付管理に活用しています」と話す。

シーエックスカーゴの各拠点では、日々膨大な量の商品が入出荷される。例えば桶川流通センターでは多い日で100台のトラックが入庫してくるが、その受付管理は従来、紙の受付簿で行っていた。ドライバーが受付簿に名前や電話番号を手書きで記入。シーエックスカーゴの担当者はその受付簿を確認しながら、待機しているドライバーに順番に電話をし、バースへ誘導するという業務の流れだった。

そうした煩雑な作業が「telesa-reserve」で大きく効率化されたと話すのは、入庫担当の榊原さんだ。「受付に設置したタブレットに車番と電話番号を入力していただいたら受付登録は完了。こちらではバースが空いたら呼び出しボタンを押すだけで、ドライバーの携帯電話にショートメッセージで自動的に連絡が行くので、とても楽になりました」

導入時にはドライバー1人ひとりに使い方を教えるなど苦労もあったが、現在ではスムーズに運用できているという。さらに、受付に1つしかない紙の受付簿と「telesa-reserve」が大きく異なるのは、入庫の進捗がオンラインで確認できること。「現場まで見に行く必要がなく、会議の途中でもPCで待機トラックの台数などが分かるため、バースを効率よく回転させる目安が立てやすくなりました。電話番号などの個人情報が他のドライバーから見えなくなったのもメリットですね」と柿原さんは評価する。

ICT導入による継続的な改善を目指す

「telesa-reserve」にはもう1つ、荷降ろし時間を事前予約できる機能がある。ドライバーが事前にスマホやPCから到着時間帯を選んで予約しておけば、長時間の待機が不要になり、物流センター側でも効率的な入庫管理が実現する。現在、シーエックスカーゴではこの事前予約機能を一部拠点間のみで試験的に運用しているが、待機車両問題の解決はホワイト物流に向けての大きな前進となることから、早期に本格導入したい考えだ。

新型コロナ感染拡大による巣ごもり需要の影響もあって、2020年の商品の取扱量が宅配を中心に伸びたというシーエックスカーゴ。2021年には桶川に第2流通センターを開設し、新たに通販物流の業務も開始する予定だという。

「社会インフラとして物流の重要性が増す一方で、ホワイト物流の取り組みやCO_2排出量削減といった課題への対応も急務です。ICT導入などによる改善を継続的に行い、生協物流の『これから』を支えるのが、当社の使命と考えています。JPRには、より効率的な物流の提案などで今後も協力していただければと願っています」と松本さんは今後への展望を語った。

PROFILE

人物白書

vol. 27

氏名	熱海（あつみ） 智哉（ともや）
所属部署	カスタマーサポート部 埼玉グループ
担当エリア	栃木県、茨城県西部

お客さまに言われて嬉しかった一言

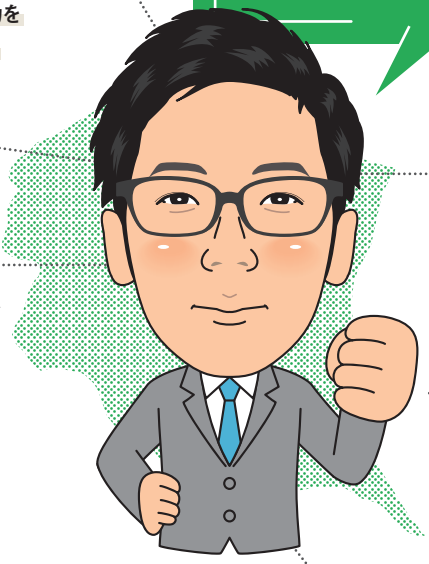
“分かりやすくて、よく理解できました”

営業冥利に尽きる一言です。お客さまにどのようにお伝えすればご理解いただけるかを、常日頃から意識していますので、お言葉を頂いた時は嬉しく思いました。

【座右の銘】
人事を尽くして天命を待つ
どのような結果になろうと悔いの残らないような行動を日頃から心掛けています。

【出身地】
埼玉県

【趣味】
サッカー、筋トレ



【好きなもの】
寿司

【嫌いなもの】
花粉

【長所・ウリ】
フットワークの軽さ

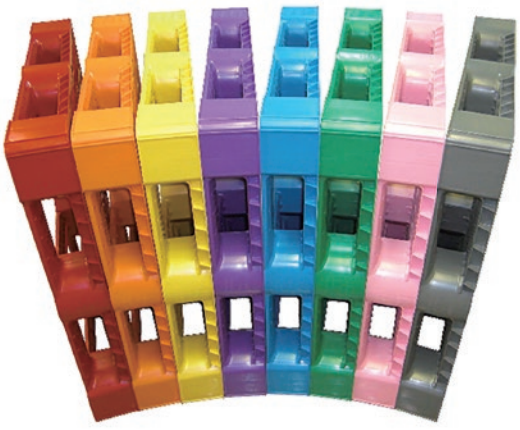
Message
お客さまへのメッセージ

お客さまのお困りごとや
課題解決の一助となれるよう
取り組んでまいりますので、
まずはお気軽にご相談ください。

FOCUS
商品・サービスインフォメーション

-Remaster-
27 カラフルパレット

全8色が1枚から



用途に合わせた2タイプ

頑丈で堅牢。新設計の
フラットタイプ

軽量で取り回しの良い
メッシュタイプ

column **色を変えるだけ。色々な効果あり！**

リサイクル材を使ったパレット。低価格ですが、その製造の過程から黒色にしかできず、どの倉庫をみても似たようなパレットばかり……。社名を印字していても、貸出先で分けて管理をしてもらえず、紛失も少なくないのでは？ そのようなときは、パレットの色を変えれば一目瞭然！ 特に レッド・オレンジ・イエロー・ピンク は既製品カラーでの取り扱いは少ないため、オーダーメードすると高価になりがちですが、こちらは既製品のため低価格でのご案内が可能です。また、パレットの色で積載物を分ければ危険物や返品の目印にも、使用部署で色を分けて使えば紛失や返却の把握にもと、その使い方は色々。色を変えるだけで簡単に業務改善が叶います。

商品の詳細はこちらから

JPR 日本パレットレンタル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル　URL www.jpr.co.jp　e-mail service@jpr.co.jp

最新情報など詳しくはwebから!
日本パレットレンタル

発行/2021年6月18日　編集/日本パレットレンタル株式会社　制作・印刷/DNP 大日本印刷株式会社